

第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会が開催されます！

全国和牛能力共進会は、全国から優秀な和牛が集まり、肉質などを競う大会です。5年に1度開かれ「和牛のオリンピック」とも呼ばれています。

今回は10月6日から10日に鹿児島県霧島市と南九州市で開かれ、全国からおよそ440頭の和牛が集まる予定です。

熊本県では7月28日及び8月26日に最終予選会が実施され、第1区から特別区までの7区11頭の牛が選抜されました。

家畜保健衛生所は、候補牛の巡回調査指導、衛生検査等の実施、証明書発行等のサポートを実施しました。

第12回全国和牛能力共進会 熊本県最終予選結果

出品区	名号	血統(父)	出品者
第1区(若雄)	多恵福重	美津福重	熊本県農研畜産研究所
第2区(若雄の1)	ひまわり	美津福重	高道修二(天草郡苓北町)
第3区(若雄の2)	つるしげ3	美津福重	(株)ストームファームコーポレーション 村山光弘 (菊池郡大津町)
第5区(高等登録群)	ふくひかり3	百合茂	淵田清(球磨郡錦町)
	ふく	安福久	
	ふくひめ	美国桜	
第7区	勝196	美津福重	齊藤勝(菊池市)
	竜3の6		(株)帆保畜産 斎藤俊昭 (菊池郡大津町)
	君子		野嶋儀一(天草市五和町)
第8区	福2の142	久茂国	吉田忍(球磨郡あさぎり町)
特別区(高校・農業大学の部)	まり	美津福重	熊本県立熊本農業高等学校



第2区予選



第3区予選

牛のブルセラ症及び結核の国内清浄化

牛のブルセラ症は、ブルセラ属菌による流産や死産等を起こす感染症であり、牛の結核は、主にウシ型結核菌による呼吸器感染症です。いずれも牛の生産性を著しく低下させる慢性感染症であるとともに、ヒトの公衆衛生上も重要な人獣共通感染症です。1960年代までは両疾病とも多くの感染牛が確認されていましたが、家畜伝染病予防法に基づく陽性牛の摘発ととう汰によって清浄化が進展しました。

牛のブルセラ症及び結核は、それぞれ平成22年及び平成26年を最後に新たな発生が確認されず、国内で清浄化された蓋然性が高いと考えられたため、平成30年度から、OIEの規定に基づき、3年間の清浄性確認サーベイランスを実施しました。

その後、我が国は、このサーベイランスの結果等を取りまとめ、牛のブルセラ症及び結核の清浄化宣言をOIEに対して提出しました。

今般、当該清浄化宣言が、令和3年4月1日を開始日として、OIEのウェブサイトに掲載されました。

牛乳・乳製品の輸出への影響について

我が国からは現在、ベトナム、香港、台湾、シンガポール、韓国、タイ、米国、カナダ、EU等への牛乳及び乳製品の輸出が可能となっております。このうち、EU向け輸出においては、原料乳の生産農場に対するブルセラ症及び結核の全頭検査が必要であることから、今後、全頭検査が不要となるよう、輸出条件の緩和について協議を行うこととしております。

(農林水産省プレスリリースより)

近隣諸国における海外悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生日月
口蹄疫(FMD)	O型	インドネシア	不明	令和4年
アフリカ豚熱(ASF)		ロシア(32件) 韓国(1件)	豚・野生いのしし 豚	令和4年7月25日 令和4年8月18日

令和4年(2022年)9月1日現在

折々の所感

新型コロナウイルスもオミクロン株による第7波では感染者数も全国で20万越えを記録しました。ワクチン接種は重症化軽減で大事ですが感染防御はしませんので、マスクの着用や密を避ける等の地道な衛生対策が重要視されています。このような対策は豚熱のまん延防止対策における手指の消毒や専用長靴、専用衣服の使用等の考え方にもつながります。(K.K.)

毎月**20**日は「**くまもと家畜防疫の日**」です。

畜舎の一斉消毒をしましょう！！